

平成 2 4 年

壱岐市議会定例会 9 月会議

行 政 報 告

壱 岐 市

目 次

はじめに	1
交流人口の拡大	
(1) 観光振興について	3
(2) 国民宿舎壱岐島荘について	5
(3) 各種イベント等について	5
市民・福祉	
(1) 介護保険施設等の整備について	6
産業の振興	
(1) 農業の振興について	7
(2) 水産業の振興について	9
(3) 商工業の振興について	10
教育	
(1) 長崎がんばらんば国体2014について	10
病院事業	
(1) 病院改革について	11
防災、消防・救急、防犯	
(1) 防災、消防・救急について	13
(2) 防犯について	14
議案説明	
(1) 補正予算について	15
(2) その他の議案について	15
おわりに	16

行政報告

平成24年壱岐市議会定例会9月会議

はじめに

本日ここに、平成24年壱岐市議会定例会9月会議にあたり、前会議以降から今日までの市政の重要事項等、また今回、補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、この度、病気治療のため長期のお休みをいただき、議員皆様、市民皆様には、ご心配とご迷惑をおかけいたしました。ここに、改めてお詫びを申し上げますとともに、ご理解いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。今回の手術によりまして、私は、健康に対する不安が全くなり、今後、本市における山積する課題、特に病院企業団加入に向けた取り組みに、さらに全力であたっていく所存であります。

私は、今回、現代高度医療技術の素晴らしさ、医療のありがたさを痛感いたしますとともに、壱岐市の医療の充実を急がなければならないという思いをさらに強くしたところであります。今後とも、議員皆様、市民皆様のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。

さて、8月5日大村市で開催された「第31回長崎県消防ポンプ操法大会」で、壱岐市消防団芦辺地区第1分団がポンプ車の部で、

また、石田地区第2分団第3小隊が小型ポンプの部で、ともに見事、優勝し、ポンプ車の部では、実に県大会9連覇の偉業を達成されました。ここに、あらためて選手並びに団員皆様をはじめ、ご家族、関係者皆様に対し、深甚なる敬意とお祝いを申し上げる次第であります。

小型ポンプの部で優勝された石田地区第2分団第3小隊は、来る10月7日に東京都で開催される「第23回全国消防操法大会」に出場いたします。同分団におかれては、全国制覇を目指し、連日、厳しい訓練を積まれており、全国大会でのご活躍を心からお祈り申し上げます。

次に、8月18日から20日にかけて、西海市で開催された第41回長崎県少年軟式野球選手権大会において、本市八幡少年野球クラブが見事優勝し、来る11月23日佐賀県で開催される第10回九州学童軟式野球大会への出場を決められました。今後の活躍を大いに期待するものであります。

また、8月27日から30日にかけて、東京都^{はちじょうまち}八丈町で開催された第5回全国離島交流中学生野球大会では、全国の離島から参加した21チームが熱戦を展開し、本市選抜チームは、2回戦で大会準優勝の沖縄県久米島チームと対戦し、1対2で惜敗しましたが、選手皆様のご健闘を心から称えるものであります。

なお、本大会において、次期、平成25年第6回大会の開催地が壱岐市に決定いたしました。改正離島振興法が、新たに公布される記念すべき初年度の大会であり、その大会を壱岐市で開催できます

ことを大変意義深く感じております。全国の離島から多くのチームにご参加いただけるよう、おもてなしの心をもって万全の準備を行ってまいります。

それでは、前定例会以降、今日までの市政の重要事項等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

交流人口の拡大

(1) 観光振興について

本市における観光客数を推計する上で、最も参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの本年4月から7月までの乗降客数累計は、253,930人(対前年比104.6パーセント)で、昨年と比べ増加しております。この要因として、東日本大震災による出控え・観光の自粛ムードの解消と、本年4月からの航路運賃の低廉化、情報発信の成果等によるものと考えております。

一支国博物館の入館者数については、8月25日に、30万人に達し、本年度は、年間目標入館者数10万人に対し、4月から8月までの入館者数が5万人を超えており、順調に推移しております。

また、壱岐市福岡事務所については、本年8月に来所者数が1万人を超え、事務所前の観光パンフレットや映像の放映を含め、壱岐市の宣伝効果は、非常に大きいものがあると認識しております。

加えて、福岡都市圏のマスコミを活用した情報発信、誘客活動の強化として、ラジオ放送局の長崎フェスタへの参加、テレビ局旅番

組の招致や関連番組出演などに取り組んでまいりました。

今後も、あらゆる機会を利用し、一支国博物館を核とした、壱岐の貴重な観光資源である「食」「歴史・文化」「自然景観」をテーマにしたPRを積極的に行ってまいります。

また、長崎県が進める、しまへの誘客、しまでの消費促進を図るための「しま共通地域通貨事業」の基本的な制度設計作成に参画してまいりました。今後、9月下旬に通貨の発行主体を決定したのち、平成25年4月発売に向け、本格的に事業実施を進めてまいります。

さらに、観光基盤づくりの整備と充実、誘致戦略の強化として、観光客に分かりやすい案内標識の整備や公衆トイレ整備を行うための調査事業を、緊急雇用創出基金事業を活用し行うこととしております。また、今後、増加傾向にある外国人観光客の誘致展開を図るため、外国人対応の施設整備を図る宿泊施設に対し支援を行ってまいります。

また、壱岐市観光協会をはじめとする観光振興組織の再構築について、まずは、情報発信窓口の一本化を図るため、専門知識やマンパワーを集結させるべく、イベント振興会事務局を含め、事務所を市役所本庁舎別館へ移転中であり、本年9月末にはワンフロアー化が実現する予定であります。今後も自立した組織運営を目的とした観光まちづくり組織の構築に向け協議、支援を行ってまいります。

このように、本年3月に策定した壱岐市観光振興計画の実現に向けた実行計画の展開を図っていくため、今回所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

(2) 国民宿舎壱岐島荘について

昨年 7 月末より業務を一時休業していましたが国民宿舎壱岐島荘について、改修工事が本年 9 月末に完成予定であり、開館準備作業を行った後の 11 月 1 日よりリニューアルオープンいたします。本改修工事により耐震化はもとより、エレベーター設置や入浴場の増設など諸設備の整備を行っております。

これら設備維持やリニューアル化に伴い、利用料の改定を行うため、今回、条例の一部改正を提案しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

(3) 各種イベント等について

この夏も、郷ノ浦祇園山笠、海の日イベント夏 夢 祭、辰ノ島フェスティバル、壱岐大大神楽公演、壱岐の島夜空の祭典、ツインズビーチフェスティバルなど民間パワーで開催され、それぞれ多くの観客で賑わいを見せたところであります。今後も、こうしたイベントについて、関係団体等と協力し、地域活性化に繋げてまいります。

また、今年の夏は、テレビ番組の壱岐市での収録が相次いで行われました。7 月 28 日から 29 日にかけて、本市で開催された「もてもてナインティナイン・お見合い大作戦！」は、8 月 21 日、8 月 28 日の 2 週に亘り、全国放送され、壱岐のすばらしい自然や食の紹介など、あらゆる面で非常に収穫の多いものであったと考えております。また、今回の番組を契機に、婚活事業を積極的に推進

するため、その一環として、年代毎に内容を変えた男女の交流イベント「イキイキお結び大作戦！」を年複数回、実施することといたしました。この婚活の機運の高まりを逃すことなく、取り組んでまいりますので、独身男女皆様の積極的なご参加をお願いいたしますとともに、市民皆様のご協力をお願いいたします。

この他、九州朝日放送「笑顔まんてん タビ好き」のロケが壱岐市で行われ、歌手の前川 清さんが、壱岐の魅力を満喫される様子が、8月19日と8月26日の2週に亘り放送されました。

さらに、TVQ九州放送「きらり九州めぐり逢い」のロケで、俳優の野村将希さんが来島され、9月22日に放送予定となっております。

こうした、テレビによる宣伝、PR効果は、非常に大きいものがあります。今後も、各種番組の収録、またドラマや映画などにおいて、壱岐市を取り上げていただけるよう働きかけを積極的に展開してまいります。

市民・福祉

(1) 介護保険施設等の整備について

本年3月に策定した高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画に基づき、認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）1ユニット、9人と介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）60床を公募にて整備を図っているところであります。

認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）については、本年7月末で公募期間が終了し、1事業者から応募がありました。9月中に介護施設等事業者選定委員会を開催し、事業者を決定することとしております。

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）については、中学校跡地利活用検討委員会での協議を踏まえ、箱崎中学校グラウンド跡地の一部を建設予定場所として、本年10月から2ヶ月間の公募後、12月に事業者を選定する計画で進めております。

両施設の整備について、今回所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

産業の振興

（1）農業の振興について

今年は平年より5日遅れで梅雨明けとなりましたが、本年産の葉たばこは、目標とする10アール当たりの収量250kgに対し、235kgの収量見込み（前年比34kg増）となっており、10月1日から開設される葉たばこ収納の成績に期待しております。

水稻については、これまでの早期水稻米のコシヒカリに代わり、本年度から「つや姫」が87ha作付けされ、8月31日に初出荷セレモニーが行われました。「つや姫」の作付けにより、今後、壱岐市水稻全体の品質、収量の向上を図り、高値で取引されることを期待しております。

普通期水稻については、台風15号の強風により穂ずれ等に伴う品質低下が発生し、7.5%の減収になる見込みと伺っております。

さて、来る10月25日から28日にかけて佐世保市ハウステンボスをメイン会場に開催される「第10回全国和牛能力共進会長崎県大会」が近づいてまいりました。本市から、種牛の部5頭、肉牛の部1頭が長崎県代表牛に選考されております。出品者の方々には大変なご苦勞をおかけいたしますが、壱岐牛の名声を高めるための重要な大会であり、市といたしましても関係機関と連携を図り、全力で支援してまいりますので、今後ともご尽力賜りますようお願いいたします。

また、8月子牛市においては、価格が42万4千円と前回市より1%下回り、牛肉輸入規制緩和の影響も不明で、今後の価格動向を心配しております。こうした中「平茂晴」の後継牛として期待される「安茂晴」「糸晴茂」の産子が初めてせりに登場し、まずまずの価格で取引されております。高齢化・後継者不足等による繁殖牛の飼養頭数が減少しておりますので、産地維持のため、今後も繁殖基盤の強化に努めてまいります。

平成23年度より本格実施となりました、農業者戸別所得補償制度については、交付対象が水田活用で2,102件、1,985ha、畑作で84件、18haとなっております。

県内離島地域の農林水産業をはじめとした地場産業の競争力低下の要因となっている輸送コストについて、離島の経済的負担の解消、軽減を図るため、海上輸送運賃の1/2の補助を行うべく今回、所

要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

有害鳥獣対策のうち、イノシシについては、石田町池田東触に設置していた監視カメラで、初めて個体が確認され、現在、捕獲檻・センサーカメラを設置し、早期捕獲にあっております。初期撲滅のため、今回所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。また、市内全戸にチラシを配布し、市民皆様に情報の提供をお願いしておりますので、情報等ありましたら速やかに、本市農林課、壱岐市農協生産振興課へご連絡いただきますようお願いいたします。

(2) 水産業の振興について

本年4月から8月までの本市における漁獲高及び漁獲量は、前年と比較しますと、漁獲高が16.4%減の約11億5千4百万円、漁獲量が19.3%減の1,235トンとなっており、漁家及び漁協経営に大変厳しい状況が続いております。

このような状況を踏まえ、本市といたしましても、水産業の振興を図るため、水産物の輸送コストの離島の経済的負担の解消・軽減を図るため、海上輸送運賃の補助等、今回所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

また、全国初の認定漁業者制度並びに漁業後継者対策制度がスタートし一年が経過いたしました。現在109名の漁業者を認定し、漁業後継者も、現在6名が研修されており、今後も積極的に活用い

ただくことを期待しております。

(3) 商工業の振興について

市内の商業を取り巻く状況は、少子高齢化に伴う人口の減少や通信販売の増加などニーズの変化により島内購買力が低下しており、一段と厳しい状況となっております。このことから、商工業者はもとより中小企業者の事業の活性化と負担の軽減及び経営の安定を図るため、振興資金融資制度と併せ、融資を受ける際の信用保証料に対する助成を行うため、今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

教育

(1) 長崎がんばらんば国体2014について

平成26年第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」については、ソフトボール競技(成年女子)と自転車競技(ロード)2競技の本市開催に向けた諸準備を鋭意進めております。

まず、施設整備や事務事業等、大会運営を円滑に、総合的に推進するため、市役所内の推進会議を立ち上げ、職員一丸となって取り組んでいるところであります。

また、本大会は、全国から多くの選手・大会関係者そして観覧者が訪れ、壱岐市を全国にアピールする絶好の機会であります。このため、市民皆様の国体開催の機運を高めるとともに、来島される皆

様が気持ちよく、壱岐市を楽しんでいただくため、現在、たくさんの国体推奨花（サルビア、ペゴニア、メランポジウム）を競技会場や沿道に配置する「花いっぱい運動」を展開しております。各種団体等において、プランターで育てていただいた花を、リハーサル大会の平成25年度、大会本番の平成26年度に各競技会場等に設置することとしており、既に苗やプランター等の配布を完了し、多くの団体等にご協力いただいております。今後も、大会の成功に向け、取り組んでまいりますので、市民皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

病院事業

（１）病院改革について

長崎県病院企業団加入については、県医療政策課、病院企業団のご指導を受けながら、県から示された諸課題の解決に向けて、鋭意進めております。

7月9日には、米倉企業長他3名の企業団職員皆様が来島され、市民病院の現状と壱岐市の医療状況をご確認いただきました。

壱岐医師会とは、7月17日に企業団加入について先生方へ説明会を開催し、ご意見をいただいたところであります。

特に、壱岐医療圏の救急医療を継続するため、医療体制を今後どのように構築すべきか、市民病院に求める初期救急の処置と対応のシステムづくり、医師派遣体制について、市民病院、民間病院にお

いても、従来から繋がり深い福岡の大学病院と今後も引き続き良好な関係を維持しながら医療体制の構築が必要など、貴重なご意見を賜りました。今後も、市民病院と壱岐医師会と連携強化を図るためにも引き続き協議を行い、9月中には、再度意見交換会を開催し、企業団加入についてご理解をいただくようにしております。

関係大学からの派遣医師の継続については、8月20日、21日、22日にかけて、福岡大学病院3医局、久留米大学病院4医局、長崎医療センター院長・副院長、9月5日には九州大学病院院長、5医局の教授、医局長とそれぞれ山下副市長が面談し、壱岐市が病院企業団へ加入する方向で進めていることを改めて説明し、今後も、医師派遣の継続をお願いいたしました。関係医局長からは、大学も医師不足は深刻化しており、厳しい状況にあるが、できる限り継続して派遣する旨の返事をいただいたところであります。

なお、正式な加入協議については、知事・企業長に対して要望書の提出をもって公式な加入協議がはじまることとなります。

要望書の提出については、既に市議会から要望書をいただいておりますので、壱岐医師会の同意を得た後に、市・議会・医師会の総意の上で、早期に提出したいと思っております。

今後も、諸課題の整理に全力を傾注し、壱岐市の医療を守るため、強い決意を持って、病院企業団加入に取り組んでまいりますので、議員各位、市民皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

防災、消防・救急、防犯

(1) 防災、消防・救急について

9月9日に発生した集中豪雨は、勝本地区の雨量が多く、1時間雨量最大で約90ミリ、降り始めからの総雨量は247ミリを記録し、建物被害2件、道路法面の崩壊5件、林地災害1件、道路冠水3件、農地災害10ヶ所等被害が発生いたしました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、今後さらに、道路や農地等の被害が確認されるものと考えております。今後も、災害対策には、万全を期してまいります。

去る8月15日、長野県諏訪市^{すわ}において、諏訪市とそれぞれ姉妹都市の関係にある静岡県伊東市^{いとう}、神奈川県秦野市^{はだの}そして壱岐市の4市で、「災害時における相互応援に関する協定書」の締結を行いました。本協定は、災害対策基本法に規定する災害が発生した場合における応急対策、復旧対策等について、相互の応援態勢を定めたもので、本協定の締結により、豪雨等災害発生時には、市民皆様への安全確保等がさらに図られるものであり、非常に意義深く感じております。また、これを契機に、諏訪市姉妹都市の絆がさらに深まり、それぞれの交流がさらに活発になることを期待しております。

次に、来る11月17日に長崎県原子力防災訓練が実施されます。これまでは玄海原子力発電所から10km圏内にある松浦市で実施されていましたが、本年度から30km圏内が避難対象区域となることから、壱岐市も、本訓練に参加することとしております。訓練項目は、情報収集伝達訓練、災害対策本部の設置、運営訓練、緊急

時モニタリング訓練、緊急被ばく医療訓練、住民避難・誘導並びに
広報訓練、航空機（ヘリ）による人員搬送及び情報収集訓練が実施
される予定となっております。なお、訓練内容の詳細は、現在、長
崎県において計画中であり、今後、詳細が固まり次第、市民皆様、
関係機関等へのご協力をお願いすることとしております。

本年7月11日から14日にかけて、九州北部地方で発生した「平
成24年7月九州北部豪雨」で甚大な被害が発生した福岡県、熊本
県、大分県の被災地に対する災害義援金の受付を、本年8月1日か
ら8月31日までの一ヶ月間行いました。義援金の額は22万
9,980円で、被災三県の日本赤十字社へ送金しております。市
民皆様の、ご協力に感謝申し上げます。

また、今夏も、全国的に猛暑となり、壱岐市内では、8月末日ま
でに13名の熱中症の患者を搬送しております。朝夕だいぶ涼しく
なってまいりましたが、まだ、残暑厳しい状況が予想されますので、
市民皆様には、水分補給等、体調管理にご留意されますようお願い
いたします。

（２）防犯について

先の市議会定例会6月会議において「壱岐市暴力団排除条例」の
議決をいただき、6月20日に公布を行いました。その後、本市の
各種契約において、壱岐警察署と緊密な連携を図るため、7月26
日に「壱岐市の契約等における暴力団等の排除措置に関する協定」
の締結を行ったところであります。今後も、行政活動への暴力団の

介入を防止し、暴力団のいない安全・安心な壱岐市の実現に向けて、努力してまいります。

次に議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本議会に提出しております補正予算の概要は、

一般会計補正総額 3億1,474万7千円

各特別会計の補正総額 1億991万7千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

4億2,466万4千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は

207億4,775万6千円

で、特別会計につきましては

101億4,473万9千円

となります。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、平成23年度各出資法人の経営状況等に係る報告4件と平成23年度財政健全化判断比率等の報告1件、各企業会計における未処分利益剰余金の処分に係る案件2件、条例の一部改正に係る案件5件、指定管理者の指定案件1件、辺地総合計画の策定1件、予算案件6件、平成23年度各会計決算認定11件であります。

案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせていただ

だきますのでご了承願います。

何とぞ十分なご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに

以上をもちまして、前定例会以降の市政の重要事項等につきまして申し述べましたが、今後も、様々な行政課題や緊急に対応しなければならない問題等に対し、果敢に取り組んでまいる所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年9月11日

壱岐市長 白川博一